よみましょ・みましょ

一つの窓口で すべてOK

住民異動届一つで
国保、年金、選挙などの手続きがなされます

これまでの住民登録法にかわって、昨年十一月十日から住民基本台帳法が施行されました。

この制度はみなさんのご家庭の一部、全部が、

他市町村に　転出
他市町村から　転入
南国市内で　転居
南国市内で　管内転居

世帯主の変更など、いろいろな事情によって、人の出入が行なわれます。この場合、所定の様式によって届け出をしていただきその所在をあきらかにするもので、この届け出によって選挙などの権利が発生し、または義務が生じることになります。

▽住民基本台帳法はどうしてできたか？

みなさんが届け出をする場合これまでは市民課の窓口、国民年金の窓口、国民健康保険の窓口、選挙管理委員会など数多くの係のところにいっていましたものを一つの窓口（市民課住民係）で届け出をすればすべての届けがすませるようにしたもので、市民の方々の便利（届け出の簡素化）をはかったものです。

▽選挙権、国民健康保険の加入、脱退、国民年金の受給権または義務など

選挙、国保、年金のことなどは新らたに届け出をした市町村で発生することになり、市町村の行政事務はこの届け出をもととして台帳の整理が行なわれ、あわせて行政事務の簡素化をはかったものです。

このように行政のもととなります住民異動届は、非常に重要なものです。届け出のときは、

印鑑・国民健康保険手帳など、関係の書類を必ず持参して、市民課の窓口で完全に届け出を済まされるようにしてください。

働らくこどもたちへ
"愛のたより"のかけ橋を

中学を卒業し、遠く家庭を離れて始めて働くこどもたちの大切な時期は、最初の三カ月と一年目だといわれています。

この時期に離職したこどもたちの再就職率は相当低く、不良化への道をたどるものが数多くあるようです。

最初の三カ月間、こどもたちは就職前の夢と期待と現実との食いちがいや、しごとへの不安、ふなれなど気持ちの動揺がはげしく、いつも不安定な心で毎日を過ごしていますが、三カ月を過ぎればしごとにも、同僚や周囲にもなれ勤労の意欲もわいてくるものです。

そのような不安定なこどもの気持をしずめ、しごとに定着させることのできるのは、故郷に住んでいる親たちの心づかい一つで切り抜けることができます。

それは遠く離れ住むこどもたちへ、家のこと、近所のできごと、友だちのことなどふるさとの匂いをこめた、"愛のたより"に簡単なはげましのことばをそえてやることです。

一週間に一度とはいわず、三日に一度、二日に一回というように短かいたよりを数多く出し、子と親との心のかけ橋をかわし合うことです。

都築紡績工場の誘致に
期成同盟会・専任事務局できる

昨年、県のあっせんによって、都築紡績KKの紡績工場を立田地区に誘致することとなり、都築紡績工場誘致対策委員会を設けられてしばしば協議がなされてきました。その間、地元との人たちとの密接な話し合いはあまりなされないままにすすめられてきました。

しかし、市では会社側の来春四月操業の線にそうべく、用地の取得に誠意をもって取り組むこととなり、これまでの対策委員会を解消し、工場誘致期成同盟会を結成同時に事務局を設置して強力に推進することになり、このほどその組織作りがなされました。この誘致態勢の整備によって、地元民の人たちとの用地買収の交渉や補償などがすすめられ誘致できるものと期待されています。

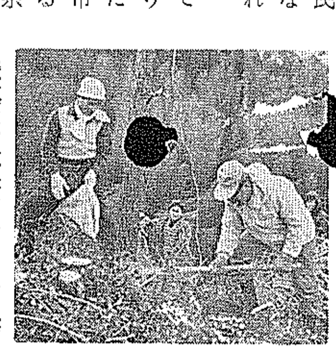
なお同盟会は、県開発財団からの借入れ金、会社負担金など一億七千六百六十三万円の[redacted]によって運営され、事業費[redacted]七千[redacted]百二十九万円、事務費四十九万円、会議費六十三万円などの経費が見込まれています。また、同会の会長は、金堂市長で、副会長には、小川良水議長と橋本[redacted]を選任し、事務局長には[redacted]助役、次長に吉本産業経済課長がなり、事務局職員に都築総務課総務係長と土居市長公室主監が誘致事業の達成まで専任して当ることになりました。

民生委員さん 梅林を造成
制度五十周年記念に

民生委員制度五十周年と明治百年を記念して、県下の市町村の民生委員協議会や社会福祉協議会などで梅林の造成運動がすすめられています。

ところで市の民生委員協議会でも梅林の造成を計画し、昨年よりこれが栽植地を物色していましたが、このほど白木谷大岩にある市有の山林を無償で借り受け、去る二月十六日に民生委員ら三十人余りの人たちによって、百数本の梅の苗が植え付けられました。

同協議会では、梅の成長を見守りながら、数年後から収穫される梅の実の収益を社会福祉事業に役立たせようと張り切っています。


（写真は、成長をたのしみに梅を植える民生委員さん）

中学新卒の就職生壮行会
記念品おくりはげます

市内の四中学校（香長、香南、鳶ケ池、北陵）を卒業し、社会へでて働らく就職生たちをはげますことしの壮行式は、三月十四日、香長中学校体育館で開らかれ、助役（市長代理）や教育長などのはげましのことば、市教委から記念品が贈られました。

ことし就職する四中学校の卒業生は百三十六人で、京阪神を主とした県外への就職者が多く、高知市や市内での就職もかなりあるようです。

（写真は、はげましをうける就職生たち）

戦没者の遺族に対する「特別弔慰金」の
時効の日がきました

昭和[redacted]六年十二月八日以後の戦没者であって、弔慰金（五万円＝軍人、軍属、三万円＝準軍属）を受給し、遺族年金、公務扶助料などを受け[redacted]いる遺族が、四十年四月一日[redacted]おいて失権しているときは、特別弔慰金を請求することができます。これについては法律的にいろいろ制約がありますので、くわしいことは市厚生課でお尋ねください。

なお、請求期限が迫っていますので、請求もれのないようにしてください。

請求の期限は、旧法（法律第百号）によるものは、本年五月三十一日、改正法（法律第百八号）によるものは、来年六月末日です。

よみましょ・みましょ

話題（トピックス）

☆　岡豊町蒲原と国分川の対岸高知市を結ぶ，農道橋、小山橋の竣工式は、２月23日行なわれました。

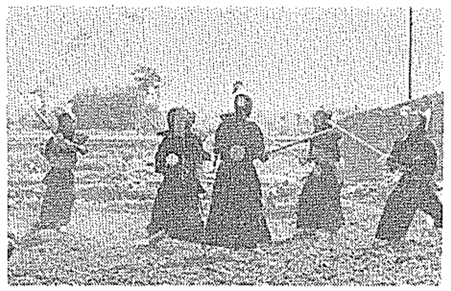
☆　２月24、25日の両日、南部福祉館（前浜）へ、安芸市の社会学級生が来市、民泊して地元の人たちと交換学習会を開らきました。

☆　創立80年をむかえました日章小学校では、このほどテレビ放送設備の竣工式をかねて創立80週年の記念式典が行なわれました。

同校のテレビ放送施設は、県下で３番目にあたります。これは同校出身の吉井幹男（建築業）さんから一昨年，テレビ撮影機、受像機一式の寄贈を受けました。そのご、校下民の寄付金によって完成したもので、将来はこどもたちの自主製作も考えられています。

☆　戦国時代の合戦をおもわす剣道の野試合いが、田村、蔵福寺の門前を決戦場としてこのほど行なわれました。

これは蔵福寺が数年前から、県下の中学、高校、一般の剣士を集め、心身の鍛錬を目的に行なっているものです。



☆　農業増産普及会ができました。

市内の肥料小売業者（８業者）によってつくられたもので、３月７日関係者をまねき発会式をしました。この会の目的は毎月農業講座を開らき、農家とともに農業を研究し、よりよい資材と技術の習得をはかろうとするものです。

「はえ」のいない明るい町づくり運動
浜改田にできる

昨年「はえ」の異常発生をみました浜改田地区では、ことしから「はえ」のいないきれいな町づくり運動を活発に行なうこととなり、このほど"はえをなくする会"をつくりました。

同地区では、ことしに入いって「はえ」をなくする話し合いを関係機関の指導のもとにすすめてきましたが、こんど各部落ごとに衛生委員を決め、久保保氏を会長に「浜改田はえをなくする会」を結成し、三月十日には、係員の実地指導のもとに徹底した地区内のゴミの清掃作業や防除作業を一斉に行ないはえの発生を防せぎました。

同会ではこんごも定期的に防除作業を行なうことにしています。

"交通事故"の無料相談
高知弁護士会が高知市で開設

このほど高知弁護士会では交通事故相談所を開設し、無料で相談に応じることになりました。

▼相談日は、毎週＝水、金曜日の二回、午前九時から午後四時まで

▼相談の場所は、高知地方裁判所内（高知市丸の内七）、高知弁護士会、弁護士控室、

▼相談を受ける人、高知弁護士会所属の弁護士

同相談所では、交通事故の無料相談と自賠保険請求手続きなど、交通事故のあるゆる相談に応じています。一般のご利用をおすすめします。